

くもや、古人は村大梵寺泊田より先は建
つる所といふ館あり、館るの事、妙川館の
下に記を舊事紀は、和洞五年、割陸奥、越後
二国置此国とあり、を以て世人出羽國号一
時に出と中心は傳りて、村里の名より郡
名となり、郡名あり、出羽とあり、事をい
さるゝ事、必の事、記を克考へ、さるゝ所なり、元
肉記は小寺信正出羽を裂ゐれ、時代は
なほぬるもへといふ、館日本紀を見
たり、一と見へ、和洞五年九月、大政官

便

誠奏曰、建国辟疆、武功所貴、設官撫民、文
教所崇、其北道蝦狄遠憑、阻險實縱、狂心
屢驚、邊境自官軍雷擊、凶賊露消、狄部晏
然、皇民無擾、誠望使乘時機、遂置一國、樹
司宰、永鎮百姓、奏可、於是始置出羽國、云々
け、文節を以て出羽を至るゝ年代は、なほ
事を知らへ、和洞五年十月丁酉朔
割陸奥、割最上、置賜二郡、隸出羽國、云々
出羽の号、後、必、号とあり、以来、出羽郡を
田川郡と改稱を、一と見へ、和洞五年、